

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	04117-1	総合環境研究センター事業	室名	環境保全室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財 会計	一般会計
	基本施策	03:循環型社会の形成・エコシティの実現	務 款	衛生費
施策体系	施策の方向	01:環境負荷の少ない社会の形成	科 項	保健衛生費
	戦略プロジェクト		目 目	環境衛生費

② 目的・概要	対象	市民、学識経験者、企業
	目的	行政、市民、学識経験者、企業などの各主体の連携・協働のもと、本市の自然的社会的特性に応じた施策を策定し、実施するために、また、環境諸問題に取り組んでいくために、時代を先取る有効な環境政策を研究、立案する
概要	自然的社会的特性に応じた施策を策定し、実施するため、行政と市民、学識経験者及び企業との連携により、地域に根ざしたニーズに取り組む(1) 環境施策の企画及び研究に関する事。 (2) 環境施策の啓発、情報発信及び人材バンクに関する事。 (3) 環境施策に伴う事業者との連携に関する事。 (4) 環境教育に関する事。 (5) 地域連携活動及び国際連携活動に関する事。 (6) その他(1)~(5)に関連する環境分野以外に関する事。	

			27年度	28年度	
③ 指標	①	名称	亀山市民大学キラリの開講	計画値	
		補足	開講回数	実績値	6
			単位		回
	②	名称	亀山市民大学キラリ「特別講演会」の開催	計画値	
補足		開講回数	実績値	1	
		単位		回	
③	名称	市内中学校出前講座(1年生対象)	計画値		
	補足	開講回数	実績値	3	
		単位		回	
④	名称	キラリ通信	計画値		
	補足	発行回数	実績値	2	
		単位		回	

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績					亀山市民大学キラリ参加述べ人数:527人(内「特別講演会:200人) 出前講座(環境講演会1回、市内中学校3校各1回)への参加述べ人数:466人 関宿街道まつりへのブース出展「エコライフ診断」実施 参加述べ人数70人 みえ環境フェア2015へのブース出展 参加述べ人数550名 産官学連携事業 浜岡原子力発電所見学会 参加述べ人数6名 HP、三重テレビでの情報発信		
	事業費		計画額	予算額	決算額	人件費	
		事業費		4,000	4,000	総人件費 ①	3,792
		国庫支出金				一般職員人件費 ②	3,792
		県支出金				所要人員 ③	0.50
		地方債				臨時職員人件費 ④	
		その他				受益者負担額 ⑤	
	一般財源		4,000	4,000	受益者負担率	0.0% ⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
	総人件費		①	3,792			
	総コスト		⑥	7,792			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	総合判定
	亀山市民総合環境研究センター事業への参加述べ人数:1,619人 地域医療についての講座を市民大学キラリの特別講演会で実施し、地域の問題を地域で考える機会を提供できた。 研究センターを中心とし、産学民官の連携による環境教育を実施した。(中学校出前講座・シャープ工場見学など) 暮らしのアドバイザー養成に加え、25年度より、いのちを守るアドバイザーの養成講座を開設し、地域で活躍できるいのちを守るアドバイザーの養成に努めた。	B ままず進んだ

【反省点・課題】
 本センターについては、これまでの趣旨、目的、事業内容、有効性等は適切であったが、開設から11年が経過し、第2次総合計画において今後の事業の方向性について検証する必要がある。

【改善の方向性】
 平成28年度において、本センターの事業の方向性等について検証し、平成29年度以降の事業内容を検討する。

事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切	最終評価確認者: 環境保全室長 杉本 良則
--------------	---------	-----------------------